

ワーク・ライフ・バランスを推進するための働き方・休み方の見直し「働き方改革」局長トップ対談 ホシザキ沖縄株式会社 平田公夫代表取締役社長

働き方改革に取り組むきっかけについて

わが社は、厨房機器のトータルサポートを業務としていますが、設立当初(約 30 年前)は、取引先の大半が夜営業の飲食店ということもあり、日常的に夜間に営業活動を行い、社員の間にも夜間・深夜までの残業は当然、という意識・体質が定着していました。時代の流れとともにお客様も多様化し、夜間対応等の必要性は少なくなってきたのですが、“残業体質”はそのままだったため社員の定着率が低い、求人を募集しても人材が集まらないということが大きな経営課題となっていました。このため、10 年ほど前、どうしたら“残業体質”などを変えることができるのか等を検討する「社員満足度向上委員会」(以下「ES 委員会」)を立ち上げました。その後、性別にとらわれず「輝いて働く」を目指す「かがやきプロジェクト」も立ち上げ、現在は「満足度向上」と「輝いて働く」という 2 つの側面から「働き方改革」を進めています。



労働時間の削減に向けて

「ES 委員会」では様々な角度から検討を重ね取組を進めていますが、労働時間の削減は大きな取組成果の 1 つです。毎週水曜日を早帰りデーとし、社員に 18 時までの早期退社を呼びかけるとともに、24 時間営業の取引先を持つ社員はどうしても帰りが遅くなるため、平均退社時間を 19:15 として意識付けを行っています。また、営業職は以前は見積書等の作成から商談、商談後のまとめ等すべて一人で行っていましたが、商談を行う営業部隊と資料作成等を行う間接支援部隊を編成し、業務シェアすることとしました。これらの取組により、早帰りを意識し業務を効率的に進める“体質”となり平均退社時間の達成率は 86%となっています。「働き方改革」に取り組むきっかけとなった人材確保の問題もこうした取組を進めるに従い解消されていきましたが、引き続き、平均退社時間の達成率 90%を目指し、早帰りに向け更なる“体質改善”を進めています。

現在、県内の各企業で働き方改革や生産性向上が重要な経営課題となっています。また我々の業界内では、HACCP という新たな衛生管理手法への対応も急務となっています。こうした動きを受け、調理機器の更なる自動化、省力化等が急速に進んでいます。我々は、進化した調理機器を提供することでお客様の働き方改革・生産性向上に貢献できていることをうれしく感じています。

男女とも輝いて働くために

「かがやきプロジェクト」の重要なミッションの 1 つが“育休支援”です。出産予定者やお子さんが産まれる予定の男性に安心して育休等を取得できるような社の支援策を丁寧に説明しています。また、育休中の社員へ社内報の提供や復帰に向けた面談を行い復帰への不安軽減に努めています。さらに、雇用保険の給付金とは別に育休奨励金を導入しました。こうした取組により「くるみん」認定を 2017 年に取得しました。認定後も男性の育休者は増えており、今年は 2 名が取得済み、3 名が今後取得予定という状況で、育休取得率としては、男女ともほぼ 100%となっています。

今後の課題について

今後の課題は仕事と介護の両立です。アンケートによりこれから訪れるであろう介護に多くの社員が不安を感じているという実態が浮かび上がってきました。このため、はじめての介護を想定した「介護ハンドブック」を作り全社員に配布しました。ハンドブックは社員の手づくりで、とてもわかりやすいと好評です。既に、介護支援策は整えていますので、制度の活用を促し育休同様“介護支援”も進めていきたいと考えています。

沖縄労働局長より

“体質を変える”ことは、一朝一夕にできるものではありませんが、委員会・プロジェクトの継続した活動により、前進されていることは大変すばらしく、加えて、進化した機器を提供するとう側面から県内の働き方改革・生産性向上に貢献いただいていることも大変有難く、引き続き取り組みいただき、県内の動きを牽引いただくようお願いします。



<企業概要>

名称:ホシザキ沖縄株式会社、業種:卸売・小売業
所在地:那覇市、労働者数:176 名



ホシザキ沖縄株式会社